

Ver 1.2

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙
モニタリング計画書

プロジェクト名	坂口合名鳥取奥日野森林管理プロジェクト
プロジェクト代表事業者名	坂口合名会社 代表取締役 坂口清太郎

提出日 2011年12月22日受理日 2011年12月22日最終版提出日 2012年 2月 9日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	鳥取県西部地区(詳細別紙)に立地するスギ(16年～50年生)、ヒノキ(16年～78年生)林分	CO2	
地下部バイオマス			CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
該当なし				

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. 算定式（方法論項目5）

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。
 本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

$\Delta C_{total} = \Delta CFM - \Delta C_{Base}$ ΔC_{total} 人為的純吸収量(t-CO ₂ /年) ΔCFM 森林経営活動(間伐)に基づく、年間のCO ₂ 吸収量(t-CO ₂ /年) ΔC_{Base} 森林経営活動(間伐)対象地のベースラインCO ₂ 吸収量(t-CO ₂ /年) $\Delta CFM = \Delta CAG + \Delta CBG$ ΔCAG 地上部バイオマス中の年間CO ₂ 吸収量(t-CO ₂ /年) ΔCBG 地下部バイオマス中の年間CO ₂ 吸収量(t-CO ₂ /年)						
2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	合計	
389	508	660	645	632	2834	

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{AG,i} = \sum_i \Delta C_{AG,i} = \sum_i (Area_{Forest,i} \times \Delta Trunk_{SC,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44 / 12)$$

$\Delta C_{AG,i}$ 森林経営活動(植栽、間伐)に基づく、階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂/年)
 $Area_{Forest,i}$ 階層*i*において森林施業(植栽、間伐)が実施された森林の面積(ha)
 ※ 1990年4月1日以降の累積面積とする。
 $\Delta Trunk_{SC,i}$ 収穫予想表等に基づく、階層*i*における単位面積当たりの幹材積の年間成長量(m³/ha/年)
 BEF_i 階層*i*における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数
 WD_i 階層*i*における成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数(t/m³)
 CF 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率(0.5)
 $1, 2, 3, \dots$ プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層: 地位級)

※計算式の詳細は別添プロジェクト吸収量算定表のとおり

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{BG} = \sum \Delta C_{BG,i} = \sum (\Delta C_{AG,i} \times R_{ratio,i})$$

$\Delta C_{BG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層IIにおける地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂/年)
 $R_{ratio,i}$ 階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数
 $i, 1, 2, 3, \dots$ プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層: 地位級)
 対象林分毎の吸収総定量を算出
 ※計算式の詳細は別添プロジェクト吸収量算定表のとおり

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

グロスーネット計上方式の場合、人為的な活動(間伐)が実施されていない土地は吸収量算定の対象とならないため、ベースライン吸収量はゼロとなる。

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

該当なし

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な方法 で記述)	方法論に 記載されて いるパラメータ を記入	モニタリ ング対象とな る活動量の 説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパター ンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング方 法ガイド ラインを参 照し、測定 機器のキャ リブレーション ・点検等 を行ったか、 また、行う かをチェック する	キャリブ レーション ・点検等 実施・予定 日	想定吸収 量の算定に 使用した値 を記入	①施業年(林 齢) ②その他特 筆すべき事 項があれば 記入
例	〇〇小班XX	AreaForest	間伐面積	森林GIS情報に基づく 方法	間伐が実施された小班ごとに、 電子コンパスを用いて・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	500m ²	①2008年度(42) ②2005年及び2010年に2 度間伐を実施
1	168B	AreaForest	間伐面積	実測に基づく方法	補助申請等に使用するホグット コンパス測定の測量面積で確 認する。	間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	5.40ha	①2007年度間伐(33)
2(MP1)	92H	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	2.09ha	①2007年度間伐(44)
3(MP2)	92H	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	1.59ha	①2007年度間伐(44)
4(MP3)	183B	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	2.23ha	①2007年度間伐(37)
5(MP4)	183B	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	2.94ha	①2007年度間伐(37)
6	183A	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	1.17ha	①2007年度間伐(40)
7	187B	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	0.29ha	①2007年度間伐(44)
8	187B	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	0.78ha	①2007年度間伐(44)
9	124A	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	1.39ha	①2007年度間伐(35)

10	124A	AreaForest	間伐面積
11	124A	AreaForest	間伐面積
12	182A	AreaForest	間伐面積
13	182A	AreaForest	間伐面積
14	98B	AreaForest	間伐面積
15	169A	AreaForest	間伐面積
16	169B	AreaForest	間伐面積
17	87D	AreaForest	間伐面積
18	87D	AreaForest	間伐面積
19	88C	AreaForest	間伐面積
20	88C	AreaForest	間伐面積
21	137C	AreaForest	間伐面積
22	137C	AreaForest	間伐面積
23	137C	AreaForest	間伐面積
24	124A	AreaForest	間伐面積
25	127A	AreaForest	間伐面積
26	127A	AreaForest	間伐面積
27	116D	AreaForest	間伐面積

間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	1.66ha	①2007年度間伐(37)
間伐後1回	○	間伐前年 2006/12/1	1.07ha	①2007年度間伐(37)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.72ha	①2008年度間伐(30)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.36ha	①2008年度間伐(30)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.66ha	①2008年度間伐(16)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	3.30ha	①2008年度間伐(31)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	2.70ha	①2008年度間伐(31)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.31ha	①2008年度間伐(45)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.34ha	①2008年度間伐(45)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	1.30ha	①2008年度間伐(50)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	1.28ha	①2008年度間伐(50)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.43ha	①2008年度間伐(24)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.20ha	①2008年度間伐(24)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	1.04ha	①2008年度間伐(24)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	2.15ha	①2008年度間伐(36)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.76ha	①2008年度間伐(33)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.48ha	①2008年度間伐(33)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.99ha	①2008年度間伐(29)

28	116D	AreaForest	間伐面積
29	116D	AreaForest	間伐面積
30	116D	AreaForest	間伐面積
31	110I	AreaForest	間伐面積
32	110N	AreaForest	間伐面積
33	110N	AreaForest	間伐面積
34	164E	AreaForest	間伐面積
35	96C	AreaForest	間伐面積
36	142C	AreaForest	間伐面積
37	140C	AreaForest	間伐面積
38	140C	AreaForest	間伐面積
39	140E	AreaForest	間伐面積
40(MP5)	124A	AreaForest	間伐面積
41	97B	AreaForest	間伐面積
42	97B	AreaForest	間伐面積
43	6F	AreaForest	間伐面積
44	6F	AreaForest	間伐面積
45	97C	AreaForest	間伐面積

間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.04ha	①2008年度間伐(29)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.50ha	①2008年度間伐(29)
間伐後1回	○	間伐前年 2007/12/1	0.67ha	①2008年度間伐(29)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.20ha	①2009年度間伐(16)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.40ha	①2009年度間伐(36)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.37ha	①2009年度間伐(36)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	6.45ha	①2009年度間伐(33)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.64ha	①2009年度間伐(42)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.26ha	①2009年度間伐(16)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.92ha	①2009年度間伐(37)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	1.38ha	①2009年度間伐(37)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	0.90ha	①2009年度間伐(37)
間伐後1回	○	間伐前年 2008/12/1	1.79ha	①2009年度間伐(48)
間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.59ha	①2010年度間伐(26)
間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.81ha	①2010年度間伐(30)
間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.40ha	①2010年度間伐(45)
間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	1.76ha	①2010年度間伐(45)
間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.15ha	①2010年度間伐(44)

46	97C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.24ha	①2010年度間伐(44)
47	165C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	1.00ha	①2010年度間伐(78)
48(MP7)	165D	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	9.33ha	①2010年度間伐(36)
49	96C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.14ha	①2010年度間伐(40)
50	96C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.40ha	①2010年度間伐(43)
51	96C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	1.12ha	①2010年度間伐(43)
52	10C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.21ha	①2010年度間伐(46)
53	10C	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.30ha	①2010年度間伐(46)
54	128A	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.43ha	①2010年度間伐(36)
55(MP6)	128A	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	2.67ha	①2010年度間伐(36)
56	128A	AreaForest	間伐面積			間伐後1回	○	間伐前年 2009/12/1	0.93ha	①2010年度間伐(31)

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応する 小班名を記入 (同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング 方法ガイ ドライン を参照 し、測定 機器 のキャリ ブ レー ション・ 点 検 を行 った か、ま た、行 うか を チ ェ ッ ク す る	キャリブ レー ション・ 点 検 実 施 ・ 予 定 日	想定吸 収量 の算 定に 使 用 し た 値 を 記 入	①特筆すべき事項が あれば記入 ②Trunk: 植栽本数等 の区分によって収穫予 想表が複数存在する 場合、使用する収穫予 想表の選定根拠(Ⅶ 備考にて説明) ②(暫定)地位: その特 定根拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽樹種ごとに伐倒 試料木を10本選定し・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
36	142C	スギ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4 の下でのLULUCF活動 の補足情報に関する報 告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決 定				1.57	(20年生以下)
2,4,7,10,12,17, 19,22,25,27,2 9,32,35,37,39, 40,43,45,50,5 2,54,56	92H,183B,187 B,124A,182A, 87D,88C,137 C,127A,116D, 110N,96C,140 C,140E,6F,97 C,10C,128A,	スギ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4 の下でのLULUCF活動 の補足情報に関する報 告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決 定				1.23	(20年生以上)
2,4,7,10,12,17, 19,22,25,27,2 9,32,35,36,37, 39,40,43,45,5 0,52,54,56	92H,183B,187 B,124A,182A, 87D,88C,137 C,127A,116D, 110N,96C,140 C,140E,6F,97 C,10C,128A,	スギ	Rradio	地下倍率	京都議定書3条3及び4 の下でのLULUCF活動 の補足情報に関する報 告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決 定				0.25	

2,4,7,10,12,17,19,22,25,27,29,32,35,36,37,39,40,43,45,50,52,54,56	92H,183B,187B,124A,182A,87D,88C,137C,127A,116D,110N,96C,140C,140E,6F,97C,10C,128A,	スギ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				0.31	
すべて	すべて	スギ・ヒノキ	CF	炭素系数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				0.50	
14,31	98B,110I	ヒノキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				1.55	(20年生以下)
1,3,5,6,8,9,11,13,15,16,18,20,21,23,24,26,28,30,33,34,38,41,42,44,46,47,48,49,51,53,55	168B,92H,183B,183A,187B,124A,182A,169A,169B,87D,88C,137C,138C,127A,116D,110N,164E,140C,97B,6F,97C,165C,165D,96C,10C,128A	ヒノキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				1.24	(20年生以上)
1,3,5,6,8,9,11,13,14,15,16,18,20,21,23,24,26,28,30,31,33,34,38,41,42,44,46,47,48,49,51,53,55	168B,92H,183B,183A,187B,124A,182A,169A,169B,87D,88C,137C,138C,127A,116D,110N,164E,140C,97B,6F,97C,165C,165D,96C,10C,128A	ヒノキ	Rradio	地下倍率	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				0.26	

1,3,5,6,8,9,11,13,14,15,16,18,20,21,23,24,26,28,30,31,33,34,38,41,42,44,46,47,48,49,51,53,55	168B,92H,183B,183A,187B,124A,182A169A,169B,87D,88C,137C,138C,127A,116D,110N,164E,140C,97B,6F,97C,165C,165D,96C,10C,128A	ヒノキ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢ごとに拡大係数を決定				0.41	
1	168B	ヒノキ	Trunksc	間材積の成長量	鳥取県スギ林分材積表(八頭・日野)(鳥取、倉吉、米子)鳥取県ヒノキ林分材積表(全県)	林分材積表の年間成長量	年1回	○	間伐前年 2006/12/1	7.24	
2(MP1)	92H	スギ	同上	同上			年1回	○	間伐前年 2006/12/1	12.22	
3(MP2)	92H	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	5.16	
4(MP3)	183B	スギ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	15.46	
5(MP4)	183B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	6.16	
6	183A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	6.16	
7	187B	スギ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	12.22	
8	187B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	5.16	
9	124A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	7.24	
10	124A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	8.24	
11	124A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2006/12/1	6.16	
12	182A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2007/12/1	18.54	
13	182A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2007/12/1	8.70	
14	98B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2007/12/1	13.30	
15	169A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法		年1回	○	間伐前年 2007/12/1	8.70	

16	169B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
17	87D	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
18	87D	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
19	88C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
20	88C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
21	137C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
22	137C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
23	137C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
24	124A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
25	127A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
26	127A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
27	116D	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
28	116D	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
29	116D	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
30	116D	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
31	110I	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
32	110N	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
33	110N	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
34	164E	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
35	96C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法

年1回	○	間伐前年 2007/12/1	8.70	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	13.90	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	5.16	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	12.44	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	4.54	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	10.24	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	13.80	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	10.24	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	7.24	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	9.88	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	7.24	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	11.78	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	8.70	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	11.78	
年1回	○	間伐前年 2007/12/1	8.70	
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	13.30	
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	17.02	
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	7.98	
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	7.24	
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	15.46	

36	142C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
37	140C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
38	140C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
39	140E	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
40(MP5)	124A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
41	97B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
42	97B	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
43	6F	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
44	6F	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
45	97C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
46	97C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
47	165C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
48(MP7)	165D	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
49	96C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
50	96C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
51	96C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
52	10C	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
53	10C	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法
54	128A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法
55(MP6)	128A	ヒノキ	同上	同上	実測に基づく方法

年1回	○	間伐前年 2008/12/1	20.18
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	10.48
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	7.24
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	10.48
年1回	○	間伐前年 2008/12/1	5.68
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	10.24
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	8.70
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	13.90
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	5.50
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	12.22
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	5.16
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	1.84
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	7.24
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	6.16
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	15.46
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	6.16
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	13.90
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	5.50
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	9.88
年1回	○	間伐前年 2009/12/1	7.24

56	128A	スギ	同上	同上	実測に基づく方法	年1回	○	間伐前年 2009/12/1	11.78	
1	168B	ヒノキ	地位	地位		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
2(MP1)	92H	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
3(MP2)	92H	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
4(MP3)	183B	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
5(MP4)	183B	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
6	183A	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
7	187B	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
8	187B	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
9	124A	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
10	124A	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
11	124A	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
12	182A	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
13	182A	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
14	98B	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
15	169A	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
16	169B	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
17	87D	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
18	87D	ヒノキ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
19	88C	スギ	同上	同上		間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿

20	88C	ヒノキ	同上	同上	
21	137C	ヒノキ	同上	同上	
22	137C	スギ	同上	同上	
23	137C	ヒノキ	同上	同上	
24	124A	ヒノキ	同上	同上	
25	127A	スギ	同上	同上	
26	127A	ヒノキ	同上	同上	
27	116D	スギ	同上	同上	
28	116D	ヒノキ	同上	同上	
29	116D	スギ	同上	同上	
30	116D	ヒノキ	同上	同上	
31	110I	ヒノキ	同上	同上	
32	110N	スギ	同上	同上	
33	110N	ヒノキ	同上	同上	
34	164E	ヒノキ	同上	同上	
35	96C	スギ	同上	同上	
36	142C	スギ	同上	同上	
37	140C	スギ	同上	同上	
38	140C	ヒノキ	同上	同上	
39	140E	スギ	同上	同上	

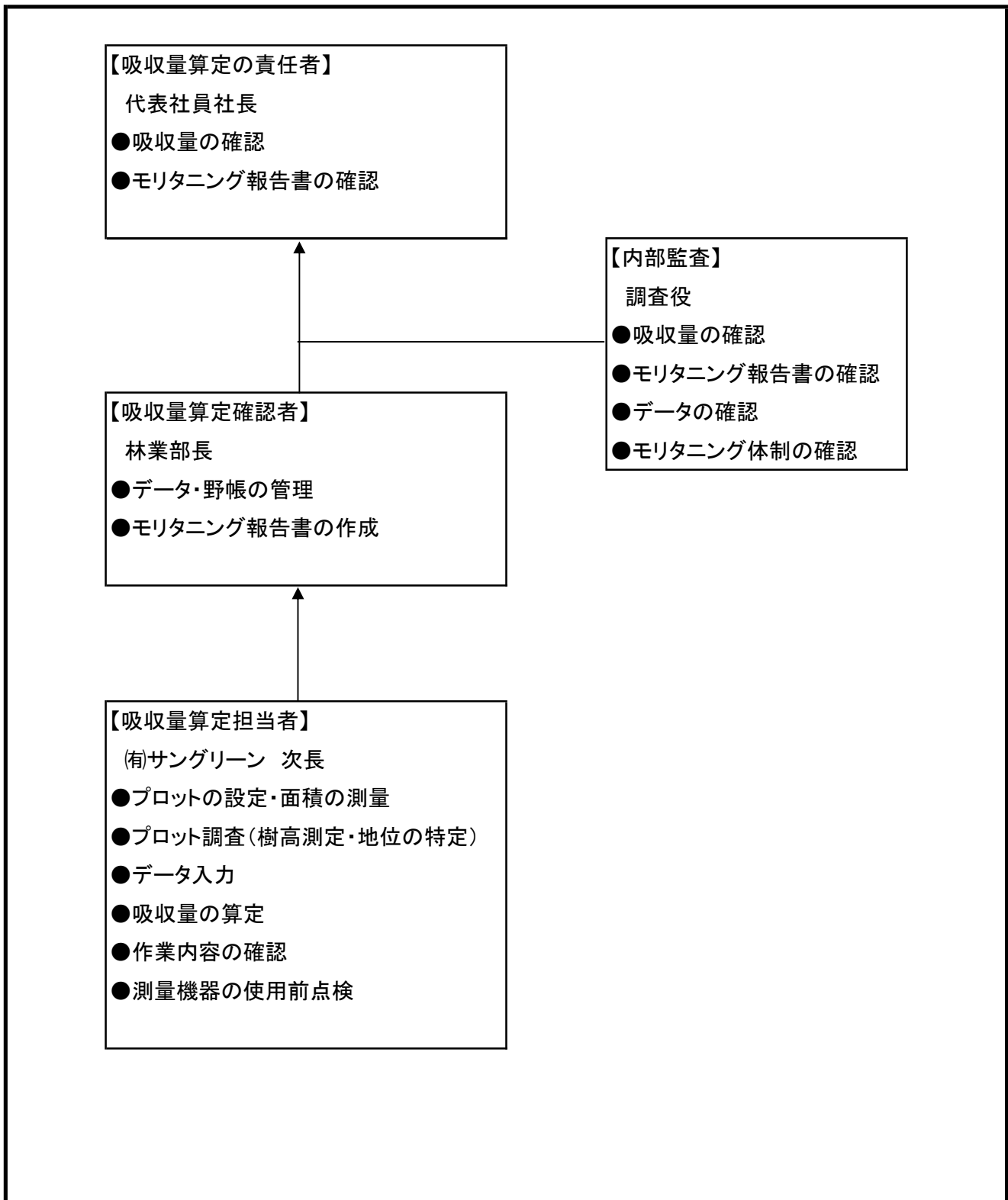
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿

40(MP5)	124A	スギ	同上	同上	
41	97B	ヒノキ	同上	同上	
42	97B	ヒノキ	同上	同上	
43	6F	スギ	同上	同上	
44	6F	ヒノキ	同上	同上	
45	97C	スギ	同上	同上	
46	97C	ヒノキ	同上	同上	
47	165C	ヒノキ	同上	同上	
48(MP7)	165D	ヒノキ	同上	同上	
49	96C	ヒノキ	同上	同上	
50	96C	スギ	同上	同上	
51	96C	ヒノキ	同上	同上	
52	10C	スギ	同上	同上	
53	10C	ヒノキ	同上	同上	
54	128A	スギ	同上	同上	
55(MP6)	128A	ヒノキ	同上	同上	
56	128A	スギ	同上	同上	

間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	1	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿
間伐後1回	○	2014/4/1	2	森林簿

IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。(モニタリングガイドライン17～18参照)

(1) 教育訓練

モニタリングにおける手順や算定基準に対する教育研修など、モニタリング及び純吸収量算定・報告に関する知識等を継続的に普及させることは、純吸収量の把握における信頼性確保のために重要であることから適切に行うこととします。具体的には、坂口合名会社(申請者)のモニタリング体制やモニタリング手順、測定機器の維持管理、モニタリング報告書記載方法等についての説明を行う。教育訓練については、教育訓練記録を作成し、平成35年度まで保管する。

【モニタリング教育・訓練】

○モニタリング研修

研修実施者 : 坂口合名会社林業部J-VER担当

研修対象 : (有)サングリーン担当者

研修時期 : モニタリング実施前

研修内容 : ①モニタリング体制
②モニタリング手順
③測定機器の維持管理方法、キャリブレーション方法
④プロット調査(毎木調査、樹高測定)、写真撮影の方法
⑤間伐委託業者への指導

研修記録 : (2)の情報保管に基づき、教育・訓練の実施記録をCD-ROM等の電子媒体、紙文書で保存する。

(2) 情報の保管

坂口合名会社(プロジェクト事業者)は、検証機関が純吸収量の算定結果を再計算出来るように、純吸収量を算定するために使用した全てのデータを文書化し、平成35年度まで保管する。

【情報の保管方法】

保管者 : 坂口合名会社林業部長

保管方法 : CD-ROM等の電子媒体、紙文書で保存する。

保管情報 : 教育・訓練の記録、モニタリングの基礎データ、算定データ、キャリブレーションの実施記録

(3) データの確認

報告のデータの信頼性を高めるためには、データのチェックが必要である。チェック方法としては、吸収量単位の確認、野外調査帳と算定ファイルの突き合わせ、使用した係数等の妥当性の確認、他の機関データとの比較、経時的なデータ変化や林分間の比較、恣意的データ・はずれ値の識別を行います。

データのチェックは、野外調査帳から算定ファイルへの入力時の入力担当者自身による自己チェックでなく、吸収量算定確認者の全数チェック、内部監査によるサンプリングチェックを実施することにより、入力ミスの低減を図ります。野帳等の記録は、平成35年度まで保管する。

【データの確認方法】

確認データ : モニタリングで使用した基礎データ(野外調査帳)、算定データ、使用した係数

確認者 : 坂口合名会社林業部長、坂口合名会社 調査役

(4) 内部監査

内部監査は、坂口合名会社(申請者)が構築した体制や実施ルール・本ガイドラインにおいて要求されている事項に、組織の活動が適合しているか、あるいは効率よく機能しているかを確認する。データのモニタリング及び収集、純吸収量の算定、報告等の一連の報告プロセスの信頼性の維持・向上のために行う。これらのプロセスは、定期的に行う。また、データのモニタリング及び収集、純吸収量の算定、報告、チェック等の一連の報告プロセスで発見された課題や問題点については、是正措置・予告措置等の必要な措置を取る。監査記録を作成し、平成35年度まで保管する。

【内部監査の方法】

内部監査員 : 坂口合名会社 調査役

監査内容 : モニタリング体制、モニタリング方法ガイドライン等に沿って、モニタリング、データの収集、算定、報告等が適切に実施されているか確認する。

(5) 測定機器の維持・管理

測定機器は、適切な方法で管理し、キャリブレーションが必要な機器については、定期的にキャリブレーションを行うと共に、計測時に、点検もしくはキャリブレーションを行う。キャリブレーションおよび点検について、キャリブレーション・点検記録を作成し、平成35年度まで保管する。

※独自の様式や手順書等を作成している場合には本様式に添付しても良い。

VI. 誤差の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m3/年)	誤差
モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法	植栽されている樹種名を記入	申請対象となる小班の面積を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている拡大係数の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種のR率を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されているR率の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の容積密度を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている容積密度の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の炭素係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている炭素係数の誤差のデフォルト値を記入	各都道府県において使用される収穫予想表から適切なものを選定し記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている収穫予想表の誤差のデフォルト値を記入
例	〇〇小班XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1	168B	ヒノキ	5.40	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
2(MP1)	92H	スギ	2.09	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	12.22	22.2%
3(MP2)	92H	ヒノキ	1.59	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.16	22.2%
4(MP3)	183B	スギ	2.23	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	15.46	22.2%
5(MP4)	183B	ヒノキ	2.94	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.16	22.2%
6	183A	ヒノキ	1.71	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.16	22.2%
7	187B	スギ	0.29	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	12.22	22.2%
8	187B	ヒノキ	0.78	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.16	22.2%
9	124A	ヒノキ	1.39	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
10	124A	スギ	1.66	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.24	22.2%
11	124A	ヒノキ	1.07	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.16	22.2%
12	182A	スギ	0.72	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	18.54	22.2%
13	182A	ヒノキ	0.36	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
14	98B	ヒノキ	0.66	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	13.30	22.2%
15	169A	ヒノキ	3.30	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
16	169B	ヒノキ	2.70	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
17	87D	スギ	0.31	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.90	22.2%
18	87D	ヒノキ	0.34	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.16	22.2%
19	88C	スギ	1.30	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	12.44	22.2%
20	88C	ヒノキ	1.28	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	4.54	22.2%
21	137C	ヒノキ	0.43	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.24	22.2%
22	137C	スギ	0.20	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.80	22.2%
23	137C	ヒノキ	1.04	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.24	22.2%
24	124A	ヒノキ	2.15	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
25	127A	スギ	0.76	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.88	22.2%

26	127A	ヒノキ	0.48	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
27	116D	スギ	0.99	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.78	22.2%
28	116D	ヒノキ	0.04	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
29	116D	スギ	0.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.78	22.2%
30	116D	ヒノキ	0.67	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
31	110I	ヒノキ	0.20	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	13.30	22.2%
32	110N	スギ	0.40	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	17.02	22.2%
33	110N	ヒノキ	0.37	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.98	22.2%
34	164E	ヒノキ	6.45	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
35	96C	スギ	0.64	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	15.46	22.2%
36	142C	スギ	0.26	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	20.18	22.2%
37	140C	スギ	0.92	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.48	22.2%
38	140C	ヒノキ	1.38	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
39	140E	スギ	0.90	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.48	22.2%
40(MP5)	124A	スギ	1.79	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5.68	22.2%
41	97B	ヒノキ	0.59	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.24	22.2%
42	97B	ヒノキ	0.81	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
43	6F	スギ	0.40	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.90	22.2%
44	6F	ヒノキ	1.76	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.50	22.2%
45	97C	スギ	0.15	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	12.22	22.2%
46	97C	ヒノキ	0.24	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.16	22.2%
47	165C	ヒノキ	1.00	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	1.84	22.2%
48(MP7)	165D	ヒノキ	9.33	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
49	96C	ヒノキ	0.14	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.16	22.2%
50	96C	スギ	0.40	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	15.46	22.2%
51	96C	ヒノキ	1.12	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.16	22.2%
52	10C	スギ	0.21	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.90	22.2%
53	10C	ヒノキ	0.30	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.50	22.2%
54	128A	スギ	0.43	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.88	22.2%
55(MP6)	128A	ヒノキ	2.67	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%
56	128A	スギ	0.93	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.78	22.2%

VI. 誤差の計算

全体の誤差 = **5.2%**

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	VI-1 誤差(入力シート)のパラメータから計算 =a*b*d*e*f*44/12	VI-2 誤差(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1 誤差(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 =地上部バイオマス * c	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている係数の誤差のデフォルト値を記入	次式により計算 =SQRT(活動量^2+係数^2)
例	〇〇小班XX	スギ	245.8	61.5	307.3	10.0%	23.1%	25.2%
1	168B	ヒノキ	36.2	9.4	45.6	10.0%	23.1%	25.2%
2(MP1)	92H	スギ	18.1	4.5	22.6	10.0%	22.9%	25.0%
3(MP2)	92H	ヒノキ	7.6	2.0	9.6	10.0%	23.1%	25.2%
4(MP3)	183B	スギ	24.4	6.1	30.5	10.0%	22.9%	25.0%
5(MP4)	183B	ヒノキ	16.8	4.4	21.1	10.0%	23.1%	25.2%
6	183A	ヒノキ	9.7	2.5	12.3	10.0%	23.1%	25.2%
7	187B	スギ	2.5	0.6	3.1	10.0%	22.9%	25.0%
8	187B	ヒノキ	3.7	1.0	4.7	10.0%	23.1%	25.2%
9	124A	ヒノキ	9.3	2.4	11.7	10.0%	23.1%	25.2%
10	124A	スギ	9.7	2.4	12.1	10.0%	22.9%	25.0%
11	124A	ヒノキ	6.1	1.6	7.7	10.0%	23.1%	25.2%
12	182A	スギ	9.5	2.4	11.8	10.0%	22.9%	25.0%
13	182A	ヒノキ	2.9	0.8	3.7	10.0%	23.1%	25.2%
14	98B	ヒノキ	10.2	2.6	12.8	10.0%	23.3%	25.3%
15	169A	ヒノキ	26.6	6.9	33.5	10.0%	23.1%	25.2%
16	169B	ヒノキ	21.7	5.7	27.4	10.0%	23.1%	25.2%
17	87D	スギ	3.1	0.8	3.8	10.0%	22.9%	25.0%
18	87D	ヒノキ	1.6	0.4	2.0	10.0%	23.1%	25.2%
19	88C	スギ	11.5	2.9	14.3	10.0%	22.9%	25.0%
20	88C	ヒノキ	5.4	1.4	6.8	10.0%	23.1%	25.2%
21	137C	ヒノキ	4.1	1.1	5.1	10.0%	23.1%	25.2%
22	137C	スギ	2.0	0.5	2.4	10.0%	22.9%	25.0%
23	137C	ヒノキ	9.9	2.6	12.4	10.0%	23.1%	25.2%
24	124A	ヒノキ	14.4	3.7	18.1	10.0%	23.1%	25.2%

25	127A	スギ	5.3	1.3	6.6	10.0%	22.9%	25.0%
26	127A	ヒノキ	3.2	0.8	4.1	10.0%	23.1%	25.2%
27	116D	スギ	8.3	2.1	10.3	10.0%	22.9%	25.0%
28	116D	ヒノキ	0.3	0.1	0.4	10.0%	23.1%	25.2%
29	116D	スギ	4.2	1.0	5.2	10.0%	22.9%	25.0%
30	116D	ヒノキ	5.4	1.4	6.8	10.0%	23.1%	25.2%
31	110I	ヒノキ	3.1	0.8	3.9	10.0%	23.3%	25.3%
32	110N	スギ	4.8	1.2	6.0	10.0%	22.9%	25.0%
33	110N	ヒノキ	2.7	0.7	3.4	10.0%	23.1%	25.2%
34	164E	ヒノキ	43.2	11.2	54.4	10.0%	23.1%	25.2%
35	96C	スギ	7.0	1.8	8.8	10.0%	22.9%	25.0%
36	142C	スギ	4.7	1.2	5.9	10.0%	23.1%	25.2%
37	140C	スギ	6.8	1.7	8.5	10.0%	22.9%	25.0%
38	140C	ヒノキ	9.2	2.4	11.6	10.0%	23.1%	25.2%
39	140E	スギ	6.7	1.7	8.3	10.0%	22.9%	25.0%
40 (MP5)	124A	スギ	7.2	1.8	9.0	10.0%	22.9%	25.0%
41	97B	ヒノキ	5.6	1.5	7.0	10.0%	23.1%	25.2%
42	97B	ヒノキ	6.5	1.7	8.2	10.0%	23.1%	25.2%
43	6F	スギ	3.9	1.0	4.9	10.0%	22.9%	25.0%
44	6F	ヒノキ	9.0	2.3	11.3	10.0%	23.1%	25.2%
45	97C	スギ	1.3	0.3	1.6	10.0%	22.9%	25.0%
46	97C	ヒノキ	1.1	0.3	1.4	10.0%	23.1%	25.2%
47	165C	ヒノキ	1.7	0.4	2.1	10.0%	23.1%	25.2%
48 (MP7)	165D	ヒノキ	62.5	16.2	78.7	10.0%	23.1%	25.2%
49	96C	ヒノキ	0.8	0.2	1.0	10.0%	23.1%	25.2%
50	96C	スギ	4.4	1.1	5.5	10.0%	22.9%	25.0%
51	96C	ヒノキ	6.4	1.7	8.0	10.0%	23.1%	25.2%
52	10C	スギ	2.1	0.5	2.6	10.0%	22.9%	25.0%
53	10C	ヒノキ	1.5	0.4	1.9	10.0%	23.1%	25.2%
54	128A	スギ	3.0	0.8	3.8	10.0%	22.9%	25.0%
55 (MP6)	128A	ヒノキ	17.9	4.7	22.5	10.0%	23.1%	25.2%
56	128A	スギ	7.8	1.9	9.7	10.0%	22.9%	25.0%

参考: 誤差 記入例

モニタリングポイント、小班名、樹種、面積、拡大係数、R率、容積密度、炭素係数、収穫予想表の値を下記のとおり記入し、モニタリング方法ガイドラインより、それぞれの誤差の値をVI-1 誤差(入力)シートに入力する。これにより、誤差の値は、VI-2 誤差(算定)シートにおいて、自動的に計算される。(下記記入例において、「不確実性」は「誤差」と読み替える)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値 (ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値 (m3/年)	不確実性
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 実施を したサイトの 通し番号) を記入	モニタリング ポイント の番号に対 応する小班 名を記入 (同一小班 名は識別 可能な方法 を記入)	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象と なる小班の 面積を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている面積 の不確実性 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 拡大係数を 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている拡大 係数の不確 実性のデフォ ルト値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の R率を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れているR率 の不確実性 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 容積密度を 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている容積 密度の不確 実性のデフォ ルト値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 炭素係数を 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている炭素 係数の不確 実性のデフォ ルト値を記入	各都道府県 において使 用される収 穫予想表か ら適切なも のを選定し 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている収 穫予想表の 不確実性の デフォルト値 を記入
1	〇〇小班 XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1	10小班イ	スギ	25.02	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5	22.2%
2	11小班イ	ヒノキ	29.50	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
2	11小班ロ	ヒノキ	0.90	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
3	13小班イ	スギ	1.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
3	13小班ロ-1	スギ	28.00	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6	22.2%
3	15小班ロ-2	スギ	0.20	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6	22.2%
4	16小班イ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
5	16小班ロ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
6	16小班ハ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
7	16小班ニ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
8	16小班ホ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
9	16小班ヘ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%

Ⅶ. 備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。